

## 令和7年度 第3回札幌市入札・契約等審議委員会の審議概要

- 1 開催日時  
令和8年3月11日（水） 15：30開会
- 2 開催場所  
札幌市役所本庁舎14階 入札室
- 3 出席者
  - (1) 委員  
中川委員長、西村委員、松村委員、山上委員
  - (2) 札幌市職員  
税務・契約管理担当局長、財政局管財部長、財政局契約管理課長、財政局工事契約担当課長、財政局建築設備検査担当課長、水道局総務課長、他5名
- 4 次第
  - (1) 開会
  - (2) 審議事項  
抽出工事等の決定・審議
  - (3) 閉会
- 5 審議概要
  - (1) 審議事項（抽出工事等の決定・審議）
    - 【委員】 本格実施後の検証に関して、令和6年度の工事で2件が調査基準価格を下回って落札しているが、これらは技術評価点が高かったために落札できたのか。
    - 【札幌市】 1件（建築工種）は入札に参加した4者すべてが調査基準価格未満だったため、低入札価格調査を経て落札者が決定した。もう1件（管工種）は一括審査の案件で、審査順位等の関係から最終的に調査基準価格未満で入札した業者を落札者として決定したものである。
    - 【委員】 無段階インセンティブ方式の採用による落札業者の変化を示すグラフにおいて、「本格実施前」として示されているのはどの年度を指すのか。
    - 【札幌市】 本格実施前の年度を示しているのではなく、本格実施後の令和6年度に発注した総合評価案件を本格実施前の配点で算出した場合の点数となっている。
    - 【委員】 抽出工事1に関して、落札できなかった業者（N社）は、自らの入札価格が原因で順位を落としたことを正確に把握できる環境にあるのか。また、本格実施で総合評価点の算出方法が変更された点について、あらかじめ情報を入手できていたのか。
    - 【札幌市】 入札結果や各社の金額は公表されるため、積算の誤りなどを含め検証可能である。また、制度改正の内容についても事前にお知らせはしている。
    - 【委員】 調査基準価格の「90%」といった率は固定ではなく工事ごとに異なるということではどうか。また、調査基準価格は事前に公表されているのか。
    - 【札幌市】 お見込のとおり、率は固定ではなく工事ごとに変動する。また、率自体は公表していないが、率算出のための計算式（直接工事費への乗率など）は公表されており、各業者は公表されている設計書を基に自ら計算を行う仕組みとなっている。
    - 【委員】 配点項目にある「本市工事被表彰回数」に関して、多くの企業が表彰さ

れるものなのか、それとも一部の企業のみ表彰されるものなのか。また、どのような基準で表彰されるのか。

【札幌市】各工種のランクごとに、工事成績が基準点を超えた優良な企業が表彰対象となる。基準点を満たせば複数の企業が表彰されることもある。

【委員】抽出工事2に関して、技術評価点の優位性で落札した業者は、実際にその後の工事で優れた成績を収めているのか。

【札幌市】本工事の成績点は92点であった。落札者の過去5年間の成績平均点は85.99点であったことから優良な成績であったといえる。

【委員】抽出工事2に関して、本格実施前の評価ではA社とB社が企業の工事成績の平均点の項目で大きく差が開いているが、これは本格実施によって大きく変わったのか。

【札幌市】本格実施前は段階別の評価であったため、その点数が属する段階によっては点差が大きく開いていたが、本格実施後では「無段階インセンティブ方式」を採用したことで得点が細分化されるとともに、高い点数ほどより高い得点を得られることとなった。

【委員】評価対象となる「提出された工事实績」は企業側が任意で選べるのか。

【札幌市】過去5年間の実績の中から、企業が任意で選択して提出できる。

【委員】成績重視の傾向が強まり、成績が優良な企業とそこまで成績をとれない企業との間で格差が広がったときに、そこまで成績をとれない企業はどこで案件をとれるのか。

【札幌市】本市では、令和9年度に総合評価の割合を25%とする目標を掲げており、残りの約75%は価格競争の案件となる。まずは価格競争案件で受注し、そこで良い成績を収めることで「成績重視型」、さらには「総合評価落札方式」へとステップアップしていくという流れがよいのではないかと考えている。

【委員】抽出工事3に関して、成績点はどうだったのか。

【札幌市】本工事の成績点は82点であった。落札者の過去5年間の成績平均点は78点であったことから優良な成績であったといえる。